創立７０周年記念誌

ＮＰＯ法人山梨県スキー連盟

70年の歩みに感謝

ＮＰＯ法人山梨県スキー連盟
会長　林野　旻

本日ここに、スキーを愛する多くの皆様と共に、本連盟設立70周年記念式典を開催できることを大変うれしく思います。

思い起こせば、戦後間もない昭和21年、大沢伊三郎初代会長のもとに、県下12のスキークラブが、「スキー技術の向上と普及振興を目指す」を目的に集結しました。

当時は、戦後復興に手が付いたばかりで、衣食住、何一つ満たされることのないそんな時に、スキー界の将来に大きな希望を見出した先輩諸兄の志に敬服するばかりです。

昭和から平成の時代にかけて、本連盟の強い要請活動と関係者のご尽力により、富士山と八ヶ岳、御坂に、本格的な大会や練習ができるスキー場が整備されました。

そこには、地元のジュニアチームの選手が元気よく滑走する姿があります。

創設期の先輩達が想像した世界が日常的に行われるようになりました。

選手強化、各種大会を県内スキー場でより多く開催できることにより、競技力・技術力が向上しました。アルペン、ノルディック、スノーボードの全国大会やアジア大会、国体で入賞し、多くの実績を残していることは皆さんご承知のとおりです。

今日まで、本連盟の活動に深いご理解とご支援をいただいたすべての関係者に心より感謝申し上げます。

本日は、70周年記念式典に当たり、多大なご支援をいただいた方々に対し、連盟として日頃からの御礼の意をこめて感謝状を贈呈させていただきます。

また、スキー技術の向上や各種大会で活躍したスキーアスリートの皆さんを優秀選手として表彰させていただきます。

ここに改めて感謝状、優秀選手賞を受賞された皆様方に敬意を表すとともに、これからも、本連盟の発展にご理解とご協力をお願い申し上げます。

本連盟は、今日70周年記念日を通過いたしました。スキーを取り巻く社会環境は大きく変化し続けています。一つひとつ問題を乗り越えて、10年後その次の10年後を目指し、スキーに関係するすべての皆さんのご協力をいただいて歩みつづけることをお誓い申し上げ挨拶とします。

祝　辞

公益財団法人全日本スキー連盟
会 長　　北 野　貴 裕

特定非営利活動法人山梨県スキー連盟が創立 70 周年を迎えられましたことを心よりお祝い申し上げます。貴連盟は昭和 21 年 11 月に創設されて以来、全日本スキー連盟の活動に多大なる貢献と実績をあげられました。関係各位のご尽力に、全日本スキー連盟を代表して敬意を表するところであります。

物資が乏しく生活環境の厳しい終戦直後の設立には、大変なご苦労があったと推察されます。以来 70 年もの長きにわたり幾多の困難を乗り越えてスノースポーツの普及・発展に努力され、多くのスキーヤーを育成されてきました。その中には、オリンピックに出場を果たした選手も輩出しております。これもひとえに貴連盟のご努力の賜物と深く感謝する次第です。

全日本スキー連盟は、今後もスノースポーツの普及振興を通して広く国民の健康、体力の向上をはかり、併せてオリンピック、世界選手権大会、ワールドカップなど国際大会で活躍する競技者の育成・強化に努力する所存です。

特定非営利活動法人山梨県スキー連盟におかれましても、70 周年というこの記念すべき年をひとつの節目として、ますます発展されますことを祈念するとともに、関係各位のご活躍を願ってお祝いの言葉といたします。

創立７０周年を祝して

公益財団法人山梨県体育協会
会 長　　後 藤　　斎

特定非営利活動法人山梨県スキー連盟が、創立 70 周年を迎えられますことを心からお祝い申し上げるとともに、貴連盟の輝かしい足跡と諸先輩の御功績をまとめた記念誌が発刊されますことを心からお喜び申し上げます。

貴連盟におかれましては、雪が少なく、スキー場も少ない山梨県において、「県内スキー場の開発」「スキー人口の減少」「スノースポーツの多様化」など幾多の困難に直面しながらも昭和 21 年の創立以来 70 年の長きにわたり、スキーをはじめとしたスノースポーツの普及、振興に御尽力いただき、多くの愛好家を育て、県民の健康及び体力増進に貢献していただきました。

また、厳しい環境の中、競技力の向上にも御尽力いただき、多数の選手及び指導者を輩出していただきました。その成果として、ここ最近の国民体育大会においては、入賞というすばらしい結果を残していただいております。

この場をお借りして、貴連盟をここまで発展させてこられた歴代の役員をはじめとする関係者の皆様の御努力と御労苦に対しまして、衷心より敬意を表します。

さて、明年に韓国平昌オリンピック・パラリンピックを控え、県民のウィンタースポーツへの関心が高まっている中、貴連盟におかれましては、選手の育成強化や指導者養成はもとより、公益財団法人全日本スキー連盟が掲げている「Ｉ　ＬＯＶＥ　ＳＮＯＷ」のスローガンのもと、スポーツとして、あるいはレジャーとして、「雪山からもらった感動をもっと多くの人たちに伝える」活動を展開しております。こうした活動により、今後もスキーをはじめとするスノースポーツのより一層の普及促進を図っていただき、本県のさらなるスポーツ振興に御尽力いただけることを大きく期待しているところです。

結びに、記念誌の編纂に御尽力された皆様に敬意を表するとともに、日頃よりスポーツの普及、発展に御尽力されております関係各位に対し深く感謝を申し上げ、貴連盟がますます発展されますことを祈念いたしまして、お祝いのことばといたします。

祝　　辞

山梨県教育委員会
教育長　守　屋　　守

このたび、特定非営利活動法人山梨県スキー連盟が、創立70周年の記念すべき年を迎えられましたことを心からお祝い申し上げます。また、70年の輝かしい歴史を刻まれた貴連盟の記念誌が発刊されますことは誠に意義深く、心からお喜び申し上げます。

創立以来、貴連盟が築かれた歴史と伝統は、まさに関係各位の御努力の賜であり、本県の体育・スポーツの振興と発展に寄与してこられた御労苦に対し、深甚なる敬意を表するものであります。

スキーは、元々狩人が獲物を追って雪の山野を移動する手段として発展しましたが、現在では、多くの人が親しむスポーツ・レジャーとして定着しています。

顧みますと、貴連盟は昭和21年の創立以来、県体育祭や各世代大会等、数多くの大会を主管され、スキー競技の普及・発展に努められました。これらは、指導者の養成、ジュニア競技者の発掘・育成・強化、審判技術の向上など、関係者の方々の献身的な支えによるものであり、皆様の多岐にわたる御尽力には甚だ感服するばかりです。

加えて、競技力の向上を目指し、全国大会で活躍する多くの選手、指導者を輩出するなど、その業績は枚挙にいとまがありません。県内外で活躍する関係者の燦然と輝く業績に心から賛辞を送りたいと思います。特に、昨年度北海道にて開催されました第８回札幌冬季アジア大会において、鈴木湧也選手（南アルプス市）がスノーボード男子回転で銀メダル、神野慎之助選手（北杜市）がスノーボード男子大回転で銅メダルを獲得し、第72回国民体育大会冬季大会では、藤原颯大選手（韮崎市）がアルペン成年で県勢初の表彰台という快挙を成し遂げたことは県民に感動を与え、我々教育関係者にも誇りとなる出来事でありました。

終わりに、本誌の編集並びに発刊にあたりまして御尽力された関係各位に深く敬意を表しますとともに、特定非営利活動法人山梨県スキー連盟の益々の御発展を祈念申し上げ、祝辞といたします。

スキー連盟７０周年にあたり

ＮＰＯ法人山梨県スキー連盟
前会長　西　室　泰　照

衣食住にもこと欠いた戦後、昭和21年末に先輩達のご尽力により創立された、ＮＰＯ法人山梨県スキー連盟も70周年を迎えることとなり、おめでとうございます。

回顧すると、私がスキーを始めたのも昭和20年代のなかばで、この年月は、私のスキー人生でもあったと感謝ひとしおです。

この70年間には、「かいじ国体」「長野オリンピック」などもあり、スキーの最盛期で、本連盟に関わった多くの先輩や友人の面影が懐かしく思い出されます。

とりわけ印象深いのは、永く会長を勤められた大森末雄氏（故人）で、この先輩の補佐役を勤められたのは、私の誇りでもありました。

古武士を偲ばせる風貌と人柄、スキー場整備や国体・長野オリンピックの成功にご尽力された功績は大きく、本連盟史においても顕著であると思います。

いま、本連盟の競技会場として利用されている、八ヶ岳・富士天神山スキー場の整備については、林野会長ともども県職員として、大森元会長の手足となって参画できたことも懐かしく思い返されます。

個人的には、雪なし県で開催の「かいじ国体」でのスキー競技会は、北海道倶知安町で行われ、安藤真由美、高橋春子選手の入賞を果たし、山梨県の総合優勝にも貢献できました。この国体には、選手強化費などの諸経費も多額となり、大変な業革となりましたが、監事としての役割を果たし得たかと思っております。

また、長野オリンピック誘致のための韓国ベアタウンスキー場で行われた、長野・新潟との三県指導員研修会に参加し、片桐匡誘致会副会長（故人）への協力も出来たと思い出の一コマです。

永きにわたり、本連盟役員として常に、常任理事、監事、副会長、会長と勤められたのも、会員や多くのスキー仲間の力強いご指導、ご協力の賜であったと感謝の念もひとしおです。

法人化を達成され、その70周年を契機に、林野会長を中心に更なる発展を遂げることを念じ、70周年に寄せることばとします。

創立７０周年を迎えて

ＮＰＯ法人山梨県スキー連盟
元会長　津　野　正　康

本日ここに、ＮＰＯ法人山梨県スキー連盟が創立 70 周年を迎えるにあたり、連盟を創立し、発展させた先人、ご先輩方の多大なる功績に深甚なる敬意と感謝を表し、心からお祝い申し上げます。

また、本連盟創立 70 周年記念式典並びに創立 70 周年記念誌の発刊が大勢のスキー関係者・愛好者のご参加、ご協力を頂き、かくも盛大に行われますことに対し皆様と共に大きな喜びとする所であります。

本連盟は、昭和 21 年 11 月創設期からスキー人口が飛躍的に増加した高度経済成長の時期、昭和から平成の時代になりバブル崩壊を経て経済・景気の動向が依然厳しいなど時代の大きな変革・変動を経験しながら今日を迎えています。

スキー界では､昭和 47 年札幌オリンピック､同 61 年かいじ国体開催年の北海道（倶知安）国体で入賞者２人、平成 10 年長野オリンピックで本連盟から競技役員に多数参加がありました。会長をはじめ本連盟関係者の献身的な努力の積み重ねにより、輝かしい歴史が作られ、今日があることに思いを巡らせ関係各位に敬意を表す所であります。

理事長、会長時代には、岩岳スキー場でアルペン、ノルディック、技術選手権を大会週間で開催し大会運営の効率化・一体化に努めました。更に競技スキー、基礎スキーともに全日本スキー連盟の資格取得を奨励し、コーチ等指導者の養成、指導力の向上を図り国体・全日本選手権等に出場する選手のレベルアップ、全日本スキー連盟等が主催する大会運営の積極的参加に意を注いで来ました。

近年は地球環境やスキー人口の変化、スノースポーツの多種・多様化を迎える中、本連盟の本来的使命である「健全なスノースポーツの楽しさや普及・振興並びにスキー技術や競技力の向上」に共通意識を持って多様なニーズへの対応を支援する所存であります。

結びに、ＮＰＯ法人山梨県スキー連盟が創立 70 周年を契機に林野会長を中心に益々発展されますよう心からご祈念申し上げお祝いのことばといたします。

７０周年記念 受賞者一覧（敬称略、順不同）

感謝状受賞者

㈲湖南堂工務店	相坂憲次	秋山土建(株)	㈱アクタス広瀬	大泉スキークラブ	アトムスキークラブ	サンメドウズスキークラブ
カムイみさかスキー場	河口湖スキークラブ	清里スキークラブ	小林林業土木(株)	ハイランドパーク㈱	富士観光開発株式会社	南雲サッシ販売　南雲敏幸
㈱早野組　代表取締役社長　早野正泰		パノラマスノーアカデミー	マウントフジスキークラブ	富士見高原スキー場	（株）南アルプス交通	（有）アルプスステーション
南陵スキークラブ	富士吉田スキー連盟	㈲山梨整美	奥脇整径	井出商店	（株）日穂	（株）ビボーン
金谷裕司	金谷愛枝	佐伯正道	坂本寿彦	新海　淳	山梨県庁スキークラブ	ツッモロースキークラブ
長谷川順一	手塚正彦	日野水うらら	平井　進	広瀬敏夫	荊沢貞夫	小佐野真二
浅尾邦彦	天野正喜	石田政輝	小笠原武司	掛本四郎	佐藤　正	佐野久男
清水甲子雄	岡　武男	津野正康	守屋裕史	徳良哲夫	林　正文	ハラモワイン
山下欣市郎	佐藤秀徳	丸山和彦	高山義一	佐藤政幹	三枝富士夫	長谷部恵二
塩沢正由	渡辺　進	望月政美	林野茂樹	林野静玉園	永田浩司	小林　優
GROW Music&Dream　梶原宏海	石水さん家の農園	ありが桃園	一行農園	清里高原ハイランドホテル	清里ハム	甲府瓦斯
ハッピーランド	日野水牧場	三澤農園	山昭農園	吉原農園	株式会社フォーチュン	武川村農産物直売センター
スピード＠	大澤農園	宝桃園	よませ温泉スキー場	(株)ファブリス	峡露園	長田農園
富士見パノラマリゾート	㈱リナン	ふじてんスノーリゾート	八千穂高原スキー場	八ヶ岳ロイヤルホテル	㈱シャトレーゼ八ヶ岳スキー事業本部	
㈲天女山	昭和シェル清里ＳＳ	萌木の村ブルーバ　レストランロック		スキージャーナル㈱	公益財団法人　キープ協会	オンヨネ
川島　悠	渡辺　稔	青柳昌彦	白井義幸	ＴＥＡＭ　Ｍｔ．	藤原　篤	ＩＣＩ石井スポーツ
吉澤農園	塩野 孝春					

表彰状受賞者

西室泰照	秋山隆信	井出澄男	跡部義幸	利根川寅雄	奥脇清治	小林完二
廣野悦二	坂本　勝	荻原明人	日野水律子	芹澤宗満	佐伯正道	広瀬敏夫
瀬戸聰史	小池義男	佐藤　正	佐野久男	水上暉彦(故人)	鈴木広光	久保　宏
佐野間芳樹	塚田春夫	渡辺勇一	田中嘉一郎	三澤　昇	渡辺　進	塩野孝春
小島重人	手塚正彦	鈴木孝昌	土屋　學	望月眞一	小田勝美	武川和正
津野正康	中嶌広次	萱沼一雄	渡辺良雄	河野徳道	平山一彦	松村　好
山本英治	丸山正視	塩沢正由	山本恭平(故人)	山梨県小中体連スキー専門部	山梨県高体連スキー専門部	石田敏司
岡部金之	三枝為好	滝沢裕一郎	堀内美亀男	新海　淳	坂本栄樹	小川晴代
渡辺三彦	日原万博	大江　至	大沢正友	小林和人	長嶋佐織	金谷裕司
長嶋啓貴	浅川正樹	千野日出男	小山政彦	村山　暢	鈴木正輝	川島　悠
南雲敏幸	小佐野真二	望月政英	清水甲子雄	岡　武男	利根川一幸	守屋裕史
町　貴仁	工藤直樹	渡辺雄三	立川秀圭	小宮山信吾	長谷川順一	栗栖浩二
秋山雅樹	奥秋由香	横内知江子	永関みさ子	大久保　学	渡辺靖之	渡辺一弘
橋本　拓	山本健一	清水秋生	奥山　徹	長谷部恵二	山本浩史	南雲幸一
清水哲弥（故人）	渡辺正一朗	小林　賢	小林義則	中澤康裕		

優秀選手表彰状受賞者

長嶋啓貴	杉田夏野	白倉順二	矢崎泰司	菅原　悟	石田俊介	長嶋佐織
中村春菜	赤松かおり	内田　塁	赤池陽介	柴田　大	遠藤晃崇	坂本栄樹
小川壮太	工藤直樹	神野愼之助	鈴木湧也	藤原颯大	広瀬文吾	三村永治
山本浩史	丸山尚美	有賀章二	野村正道	山腰洋樹	廣瀬本男	逸見佳代
石原崇裕	雨宮　久	富岡俊士	輿石　正	宮下　久	長谷川順一	三木つばき

山梨県スキー連盟の歴史７０年

大正 元年 12 月	高田連隊が富士吉田に来た時、山梨に初めてスキーが紹介された
大正 ９年 ２月	第１回県下スキー選手権大会が県営富士馬返しスキー場で開催
昭和 21 年 11 月３日	**山梨県スキー連盟創立。初代会長が大沢伊三郎**、加盟団体は甲府スキークラブ、ＹＳＫＳクラブ、南嶺会、関東配電山梨支店、甲府管理部スキー部、甲府税務署スキー部、山梨県庁スキー部、富士山麓スキークラブ、谷村スキークラブ、西野岳友会、塩山スキークラブ、千代田スキークラブ
昭和 22 年	**第１回県下スキー競技会が霧ヶ峰スキー場で開催**
12 月 1 日	山梨県体育協会に加盟
昭和 23 年	**第３回長野（野沢）国体初参加**。藤川二郎、長田進、広瀬不二三、山下豊次、伴野亘、島田忠二、市川忠次、三井格太郎
5 月 23 日	全日本スキー連盟に加盟
	第１回体育祭冬季大会スキー競技会が霧ヶ峰スキー場で開催
昭和 24 年 １月	本県初のＳＡＪ公認バッヂテストを霧ヶ峰スキー場で開催
２月	山梨県スキー選手権大会、第１回県下高校対抗スキー大会が霧ヶ峰スキー場で開催
昭和 26 年 ２月	第１回県下小中学生スキー大会が県営籠坂峠スキー場で開催
昭和 27 年	船津口登山道二合目にスキー場発見
昭和 29 年	第１回山静対抗富士山スキー大会が開催、第３回大会で山梨総合優勝
昭和 32 年	県選手権、国体予選等を霧ヶ峰スキー場から八方尾根スキー場に変更
昭和 35 年	**第 15 回長野国体、大回転競技で中楯茂子（旧姓大庭）11 位**
昭和 38 年	第 16 回体育祭冬季大会スキー競技会兼山静対抗富士山スキー大会予選が白樺湖スキー場で開催
昭和 42 年 12 月	国体候補選手強化合宿制度の導入
昭和 45 年	県選手権、国体予選等を八方尾根スキー場から岩岳スキー場に変更（昭和 45 ～ 46 年）
	県選手権大会に滑降競技を導入
昭和 47 年	県選手権、国体予選等を岩岳スキー場から八方尾根スキー場に変更（昭和 47 ～ 53 年）
２月	第 11 回冬季オリンピック札幌大会が開催
昭和 48 年	予選会等で男女同じコース、ジュニア部の大会の実施
昭和 52 年 12 月	ジュニア選手への強化育成を図るため強化候補選手の合宿制度導入
昭和 53 年 １月	第 41 回「かいじ国体」選手強化基本計画を策定、ジュニア、高校生、成年選手の強化
12 月	第 41 回「かいじ国体」第一次強化計画の実施
昭和 54 年	県選手権、国体予選等を八方尾根スキー場から岩岳スキー場に変更（昭和 54 ～平成 14 年）
昭和 56 年 12 月	第 41 回「かいじ国体」第二次強化計画の実施
昭和 59 年 12 月	第 41 回「かいじ国体」第三次強化計画の実施（候補選手 43 名指定）
昭和 60 年	**第 40 回群馬国体、安藤真由美（距離成年１部）６位入賞、本県スキー史上初の入賞**
昭和 61 年	**第 41 回北海道（倶知安町）国体、安藤真由美（距離成年１部）連続６位入賞**
	高橋春子（大回転成年２部）７位入賞、アルペンで本県初の入賞
昭和 62 年	**第 42 回長野国体、丸登康男（スペシャルジャンプ成年２部）６位入賞、**
	安藤真由美（距離成年１部）９位
昭和 63 年	県選手権大会の滑降が、スーパー大回転に種目変更
	第 43 回岩手国体、丸登康男（スペシャルジャンプ成年２部）10 位
	第 18 回冬季オリンピック長野招致に向けて、国内立候補都市（長野、盛岡、山形、旭川）の一本化で、大森会長のもと連盟も長野を支援。ＪＯＣは６月１日国内候補地を長野に決定
平成３ 年	**第 46 回新潟国体、丸登康男（スペシャルジャンプ成年Ｃ）３位入賞**
平成４ 年	**第 47 回山形国体、丸登康男（スペシャルジャンプ成年Ｃ）６位入賞**
平成５ 年	**第 48 回鳥取国体、丸登康男（スペシャルジャンプ成年Ｃ）４位入賞**
平成６ 年	**第 49 宮城国体、丸登康男（スペシャルジャンプ成年Ｃ）　５位入賞**
平成７ 年	新潟県妙高高原杉之原スキー場でリーゼンスラローム大会を開催（～８年）
平成８ 年	**第 51 回岐阜国体、丸登康男（スペシャルジャンプ成年Ｃ）５位入賞**

平成９年	競技本部にスノーボード部新設
平成 10 年　２月	**第 18 回冬季オリンピック長野大会が開催、県連盟も競技役員で多数参加**
	山梨県スキー連盟創立 50 周年記念式典、ＯＢ会設立
平成 11 年	「山梨県スキー週間」検討委員会で「県内スキー場」での大会開催を検討
平成 12 年	文部、厚生省等後援、山梨県スキー連盟主管「全国ろうあ者冬季体育大会」大泉清里スキー場で開催
平成 13 年　４月	「映画会事業検討委員会」を設置
12 月	「映画会事業」は第 46 回「スキー講演と映画の夕べ」をもって終了
平成 15 年　１月	県選手権、国体予選等を岩岳スキー場から「大泉清里スキー場」に変更
平成 16 年 10 月	**「特定非営利活動法人山梨県スキー連盟」法人として再出発**
平成 17 年	**第 60 回岩手国体、小川壮太（ノルディック成年Ｂ）８位入賞、**
	工藤直樹（ノルディック成年Ｃ）９位
平成 18 年	第 61 回群馬国体、工藤直樹（ノルディック成年Ｃ）９位
平成 19 年	計測器（セイコータイムマシンＣＴ－ 400）を購入、成績処理等の迅速化
平成 24 年	**第 67 回岐阜国体、藤原颯大（大回転少年）２位入賞**
平成 25 年	**第 68 回秋田国体、藤原颯大（大回転少年）２位入賞**
平成 27 年	第１回山梨オープン大会が開催、ネット、携帯からできるデジエントリーがスタート
平成 29 年	**第 72 回長野国体、藤原颯大（大回転成年Ａ）３位入賞**
	冬季アジア札幌大会、鈴木　湧也（スノーボード回転）　２位入賞
	神野慎之助（スノーボード大回転）３位入賞
	ＳＡＪ公認スキー指導員・スキーＡ級検定員・スノーボード指導員検定会をサンメドウズ清里スキー場で開催、山梨県で開催した最初の指導員等検定会。
	山梨県スキー連盟創立 70 周年記念式典、記念誌発刊

（出典：山梨県体育史Ⅰ巻～Ⅲ巻、山梨日日新聞、山梨県の百年、郡内の１００年、ＳＡＪスキー年鑑）

長野オリンピック招致活動の回想録

ＮＰＯ法人山梨県スキー連盟
元会長 津 野 正 康

① 1984 年甲信越ブロック第１回長野オリンピック招致委員会が長野県上山田で開催。山梨県から掛本副会長（故人）と津野が出席。甲信越ブロックから日本全体に長野招致活動を広げることを決議。

② 後に長野県スキー連盟郷津副会長（故人）より政界に話ができる人はいないかと個人的に依頼され、当時の県連会長大森末雄氏（故人）と富士吉田市で会談、全面的に協力することで一致。

③ ４月全日本スキー連盟評議員会で郷津副会長から、６月に山梨県の政界関係者と長野県との会談を依頼された。東京で長野県から長野オリンピック招致委員会の吉村県知事、片桐長野県スキー連盟会長（故人）など 14 名、山梨県から大森会長と津野が出席。今回のオリンピックが長野に決定するように支援協力を要請。

④ 1988 年５月 30 日ＳＡＪ理事会を経て、６月１日ＪＯＣ総会で国内候補地が長野に一本化決定。

⑤ 1991 年６月 15 日（現地時間）塩島澄博ＳＡＪ常務理事から連絡あり、英国・バーミンガムＩＯＣ総会で第 18 回オリンピック、1998 パラリンピックが日本と決定。

⑥ 1998 年第 18 回長野オリンピックの開会式の特別招待券２枚を大森会長ご夫妻に届ける。
本連盟からは甲信越ブロックで役員として参列。62 番ゲートから入場し真正面から開会式を見学、すばらしかった。長野県民の苦労が報われたと思いよろこんでいます。

歴代役員

年度	会長	副会長	理事長	SAJ出向役員	
				参与、監事 評議員選定委員	(名誉)評議員、評議員
昭和21年	大沢伊三郎	長田　進・中込国勝	藤川二郎		
22年	大沢伊三郎	長田　進・中込国勝	藤川二郎		
23年	大沢伊三郎	長田　進・中込国勝	藤川二郎		
24年	大沢伊三郎	長田　進・中込国勝	藤川二郎		
25年	大沢伊三郎	長田　進・中込国勝	藤川二郎		
26年	大沢伊三郎	長田　進・中込国勝	藤川二郎		
27年	大沢伊三郎	長田　進・中込国勝	藤川二郎		
28年	大沢伊三郎	長田　進・中込国勝	藤川二郎		
29年	大沢伊三郎	長田　進・中込国勝	藤川二郎		
30年	藤川二郎	山下豊次・芹沢元安	松村敏夫		
31年	藤川二郎	山下豊次・芹沢元安	佐々武彦		
32年	藤川二郎	山下豊次・広瀬不二三	松山熊雄		
33年	藤川二郎	山下豊次・広瀬不二三	松山熊雄		
34年	藤川二郎	山下豊次・広瀬不二三・山寺　巌			
35年	藤川二郎	田辺作義・秋山英二・広瀬不二三	白倉　久		
36年	藤川二郎	秋山英二・広瀬不二三	白倉　久		
37年	藤川二郎	秋山英二・広瀬不二三	白倉　久		
38年	山下豊次	田辺作義・河手重太郎・渡辺高康	佐々武彦		
39年	山下豊次	渡辺高康・太田源一郎・渡辺東作	秋山英二		
40年	山下豊次	渡辺高康・太田源一郎・渡辺東作	秋山英二		
41年	山下豊次	渡辺高康・太田源一郎・渡辺東作	秋山英二		
42年	山下豊次	渡辺高康・太田源一郎・渡辺東作	秋山英二		
43年	山下豊次	太田源一郎・広瀬不二三・渡辺東作	秋山英二		
44年	山下豊次	太田源一郎・広瀬不二三・渡辺東作	秋山英二		
45年	広瀬不二三	太田源一郎・小屋忠靖・渡辺東作	古屋学而		
46年	広瀬不二三	太田源一郎・小屋忠靖・渡辺東作	古屋学而		
47年	太田源一郎	小佐野和夫・渡辺高康	石原玲二		
48年	太田源一郎	小佐野和夫・渡辺高康	山田敏男		
49年	秋山英二	小佐野和夫・中沢彦一	土屋　學		
50年	秋山英二	小佐野和夫・中沢彦一	土屋　學		
51年	大森末雄	小佐野和夫・中沢彦一・武藤猛夫	石原玲二		
52年	大森末雄	小佐野和夫・中沢彦一・武藤猛夫	小沢　裕		
53年	大森末雄	小佐野和夫・中沢彦一・掛本芳成	小沢　裕		
54年	大森末雄	小佐野和夫・中沢彦一・掛本芳成	津野正康		
55年	大森末雄	小佐野和夫・中沢彦一・掛本芳成	津野正康		
56年	大森末雄	小佐野和夫・中沢彦一・掛本芳成	津野正康		
57年	大森末雄	松山熊雄・小佐野和夫・掛本芳成	樋口一彦		津野正康、岩間英仁
58年	大森末雄	松山熊雄・小佐野和夫・掛本芳成	樋口一彦		津野正康、岩間英仁
59年	大森末雄	桜井　茂・松山熊雄・小佐野和夫・掛本芳成	樋口一彦		古屋学而、津野正康
60年	大森末雄	桜井　茂・松山熊雄・小佐野和夫・掛本芳成	樋口一彦		古屋学而、津野正康
61年	大森末雄	桜井　茂・松山熊雄・掛本芳成・武藤光隆	樋口一彦		古屋学而、津野正康
62年	大森末雄	桜井　茂・松山熊雄・掛本芳成・武藤光隆	樋口一彦		古屋学而、津野正康
63年	大森末雄	西室泰照・掛本芳成・武藤光隆	馬場福治		古屋学而、津野正康
平成元年	大森末雄	西室泰照・掛本芳成・武藤光隆	馬場福治		古屋学而、津野正康
2年	大森末雄	西室泰照・掛本芳成・白須　中	小林完二		古屋学而、津野正康
3年	大森末雄	西室泰照・掛本芳成・白須　中	小林完二		古屋学而、津野正康
4年	掛本芳成	土屋　學・津野正康・杉岡政良	小林完二		古屋学而、津野正康
5年	掛本芳成	土屋　學・津野正康・杉岡政良	小林完二		古屋学而、津野正康
6年	掛本芳成	杉岡政良・土屋　學・津野正康・井出澄男	林野　晃		古屋学而、津野正康
7年	掛本芳成	杉岡政良・土屋　學・津野正康・井出澄男	林野　晃	(監事)古屋学而	掛本芳成、津野正康
8年	掛本芳成	土屋　學・津野正康・井出澄男・跡部義幸	林野　晃	(監事)古屋学而	掛本芳成、津野正康
9年	掛本芳成	土屋　學・津野正康・井出澄男・跡部義幸	林野　晃	(監事)古屋学而	掛本芳成、津野正康
10年	土屋　學	津野正康・井出澄男・跡部義幸	望月眞一	(監事)古屋学而	津野正康、井出澄男
11年	土屋　學	津野正康・井出澄男・跡部義幸	望月眞一	(監事)古屋学而	津野正康、井出澄男
12年	津野正康	井出澄男・跡部義幸・林野　晃	望月眞一	(監事)古屋学而	津野正康、井出澄男
13年	津野正康	跡部義幸・林野　晃	望月眞一	(監事)古屋学而	津野正康、井出澄男
14年	秋山隆信	跡部義幸・林野　晃	川島　悠	(監事)古屋学而	(名誉)津野正康、秋山隆信、川島　悠
15年	秋山隆信	跡部義幸・林野　晃	川島　悠		(名誉)津野正康、秋山隆信、川島　悠
16年	秋山隆信	跡部義幸・林野　晃・水上暉彦	川島　悠		(名誉)津野正康、秋山隆信、川島　悠
17年	秋山隆信	林野　晃・利根川寅雄・水上暉彦	川島　悠		(名誉)津野正康、秋山隆信、川島　悠
18年	秋山隆信	林野　晃・利根川寅雄・水上暉彦	川島　悠	(監事)林野　晃	(名誉)津野正康、秋山隆信、川島　悠
19年	西室泰照	林野　晃・利根川寅雄・岡　武男・奥脇清治	川島　悠	(監事)林野　晃	(名誉)津野正康　西室泰照、川島　悠
20年	西室泰照	林野　晃・利根川寅雄・岡　武男・奥脇清治	川島　悠	(監事)林野　晃	(名誉)津野正康、西室泰照、川島　悠
21年	西室泰照	林野　晃・岡　武男・奥脇清治	川島　悠	(監事)林野　晃	(名誉)津野正康、西室泰照、川島　悠
22年	西室泰照	林野　晃・岡　武男・渡辺　進・利根川昇	川島　悠	(監事)林野　晃	(名誉)津野正康、西室泰照、川島　悠
23年	西室泰照	林野　晃・岡　武男・渡辺　進・利根川昇	川島　悠	(監事)林野　晃	(名誉)津野正康、西室泰照、川島　悠
24年	林野　晃	岡　武男・渡辺　進・川島　悠	清水甲子雄	(監事・評議員選定委員) 林野　晃	(名誉)津野正康、川島　悠
25年	林野　晃	岡　武男・渡辺　進・川島　悠	清水甲子雄	(監事・評議員選定委員) 林野　晃	(名誉)津野正康、川島　悠
26年	林野　晃	岡　武男・渡辺　進・川島　悠	清水甲子雄	(監事・評議員選定委員) 林野　晃	(名誉)津野正康、川島　悠
27年	林野　晃	岡　武男・渡辺　進・川島　悠	清水甲子雄	(監事・評議員選定委員) 林野　晃	(名誉)津野正康、川島　悠
28年	林野　晃	岡　武男・渡辺　進・川島　悠	清水甲子雄	(参与)林野　晃	(名誉)津野正康・川島 悠、林野　晃
29年	林野　晃	岡　武男・渡辺　進・川島　悠	清水甲子雄	(参与)林野　晃	(名誉)津野正康・川島 悠、林野　晃

（出典：SAJスキー年鑑、山梨県体育史Ⅰ～Ⅲ巻、定期総会資料）

Ⅰ　創設期（名称等は当時、現在は閉鎖）

（1）乙女高原スキー場

昭和 26 年 1 月東山梨郡西保村北原に山梨で第一号の「競技大会ができるスキー場」としてオープン。当地は昭和 27 年「乙女高原」と命名、標高は最上部が 1760 m。

山梨日日新聞（昭和 27 年 2 月 14 日）に「東山梨郡体育祭冬季大会で真価を認められた。積雪 130 ｃｍ粉雪、雪質スロープとも上々で霧ヶ峰に匹敵。傾斜最高 32 度、平均 12 度の頗る変化に富む同スキー場の進出は交通の開発が先決。西保までバス、徒歩４時間」と掲載。西保青年団員等による下草刈りが 50 年間続けられスキー場が保全。東山梨郡（昭和 27 年第 1 回）、峡東選手権（昭和 34 年第 7 回）、牧丘町民（昭和 55 年第 8 回）、県下中学校等のスキー大会が開催された。昭和 50 年 1 月に県内初の簡易リフト（Tバーリフトと呼ばれ長さ 150 m）が設置、昭和 53 年牧丘町乙女高原グリーンロッジが開設。平成 12 年 3 月までスキー場として存在した。

大会風景　乙女高原スキー場（清水甲子雄氏提供）

甲利山スキー場（小林 賢氏提供）

（2）甘利山スキー場

登山家山寺巌氏が小林三郎氏と共に、韮崎市の甘利山（1731 m、山梨百名山）の中腹をスキー場として開拓。甘利山では大正時代からスキーが行われ、交通不便でも近隣では唯一のスキー場で、汁垂ヒュッテなど利用し多くのスキーヤーが訪れた。

昭和 31 年に第 1 回県下甘利山スキー大会（昭和 39 年に第 7 回）が開催。山梨日日新聞（昭和 34 年 1 月 30 日）に「第４回甘利山スキー選手権大会が２月 15 日に回転、大回転、長距離競技の３種目で開催。午前４時までに韮崎駅に集合すればバス輸送の便がある」と掲載。スキー場は昭和 40 年代頃まで賑わった。

甲利山スキー場（小林 賢氏提供）

（3）籠坂峠スキー場

山梨・静岡県境手前の籠坂峠（1104 m）で、西側に県営籠坂峠スキー場（リフトなし）があった。また、東側に富士急マウント富士スキー場が開設されリフト、人工降雪機付きであった。

県営籠坂峠スキー場では、小中学生スキー大会等が開催された。山梨日日新聞（昭和 26 年 2 月 19 日）に「２月 18 日、第 1 回県下小中学生スキー大会が開会され、1000 m滑降、400 m回転、４キロレースが行われた」と掲載。

大会風景富士二合目スキー場（山下欣市郎氏提供）

（4）富士二合目スキー場

昭和 27 年、船津口登山道二合目にスキー場を発見、富士急行と連携してバスの運行を確保。

昭和 29 年３月に、第 1 回山静対抗富士山スキー大会が開催、山梨は第３回に総合優勝した。昭和 31 年 1 月に第 10 回県選手権大会、昭和 31 年～同 33 年に県体育祭スキー競技（第９回～ 11 回）、昭和 37 年 1 月に第 14 回県高校総体スキー競技等が開催されたが、以降は降雪量が少なく休止状態になり閉鎖。吉田口登山道には県営富士馬返しスキー場（昭和９年２月に第 1 回県下スキー選手権大会開催）等があった。

（5）県営八ヶ岳スキー場

昭和 26 年から県営美し森スキー場が開発され、後に拡張され県営八ヶ岳スキー場となった。交通の便は甲府からバスか鉄道で小海線清里駅下車、清泉寮か清里駅付近の宿舎等を利用、県下中学校スキー大会等が開催された。山梨日日新聞（昭和 34 年２月 13 日）に「第九回県下中学校総体スキー競技大会は 14 日に八ヶ岳山麓美し森第二スキー場で開催。大回転、回転競技のコースは全長 300 mの第二ゲレンデ、距離には４k コースが設けられる」と掲載。昭和 39 年１月に県高校総体スキー競技、同 40 年２月に県体育祭スキー競技が開催。

また、山梨日日新聞（昭和 40 年１月 11 日）に「４つのゲレンデが滑走可能。バス 20 台収容の駐車場が完成、清里駅と美し森スキー場間のマイクロバス運行開始、甲府からスキー場への直通バス運行も検討。現地には山交のロープトウ（150 m）も設置、県営八ヶ岳ロッジ、高根荘等の受け入れもＯＫ」と掲載。

昭和 50 年Ｔバーリフト、昭和 56 年Ｔバーリフトに替わりロープ塔を設置。県営八ヶ岳スキー場整備計画により拡張整備し、平成２年 12 月キッツメドウズ大泉清里スキー場の開設が実現した。

冨士小御嶽神社前（山下欣市郎氏提供）

富士二合目スキー場（小佐野真二氏提供）

Ⅱ 現代のスキー場（名称、役職はオープン当時）

（１）現代の「県内スキー場」開設の経緯

創設期の県内のスキー場には、リフトや休憩施設が無かった。

また、スキー人口の増加や技術の向上が図られる中、スキーの普及発展のため県内での大会開催や選手強化ができるスキー場開設は是非とも必要であった。そこで本連盟が中心となり、本格的な「県内スキー場」の開設を県当局に要望してきた。

昭和 52 年 10 月　県営八ヶ岳スキー場開発について県議会に要請
昭和 60 年　６月　県内スキー場早期実現について、大森末雄会長が知事に陳情。
　　７月　県庁内に適地調査プロジェクトチームを設置、鳴沢村（富士北麓）と大泉村（八ヶ岳南麓）地内の県有林を候補地
昭和 61 年　２月　富士北麓については民活により開発を決定
　　３月　八ヶ岳南麓についても、基本構想がまとまる
昭和 61 年 12 月　「富士天神山スキー場」オープン
昭和 63 年 12 月　「御坂スキー場」オープン
平成 ２ 年 12 月　「大泉清里スキー場」オープン

県営八ヶ岳スキー場（利根川 昇氏提供）

県営八ヶ岳スキー場（利根川 昇氏提供）

（2）富士天神山スキー場

大森末雄会長のもと県スキー連盟の熱意が実り、南都留郡鳴沢村に昭和 61 年 12 月本格的スキー場としてオープン。標高は最上部 1485 m、最下部 1285 m。平成 12 年にふじてんスノーリゾートに名称変更。平成 25 年７月に、サマーシーズンにもスキーやスノーボードで滑ることができるサマーゲレンデを開始。

教育本部の指導者研修会等が開催され、県内外の指導者及び検定等の受験者養成を支援。また、スキー教室や「ふじてんチャレンジカップ」大会等でジュニアの選手育成を目指す。

ふじてんスノーリゾート提供

（3）御坂スキー場

笛吹市御坂町上黒駒に昭和 63 年 12 月本格的スキー場としてオープン。平成元年に第２リフト・翌年に第３リフトを新設。平成３年に造雪機を導入し近隣では最も早い 11 月下旬にシーズンインした（現在は 12 月）。標高は最上部 1050 m、最下部約 850 m。平成 10 年にカムイみさかスキー場に名称変更。

平成７年に造雪機を使用した全長 250 mの室内ゲレンデをオープン。その後、平成 12 年にハーフパイプ専用のゲレンデに変更しシーズンオフでも本格的に練習できるため全国からスノーボーダーが集まる。定期的にスノーボードの強化練習なども行われている。また、スキー教室などの開催が盛んで基礎スキーの普及・発展を支援。

カムイみさかスキー場提供

（4）キッツメドウズ大泉清里スキー場

山梨県は昭和 61 年「県営八ヶ岳スキー場整備検討委員会」を設置。八ヶ岳国定公園内で様々な課題がある中で、大森末雄会長をはじめ県スキー連盟関係者の熱意が実り、北杜市大泉町に平成２年 12 月本格的スキー場としてオープン。標高は最上部 1900 m、最下部約 1600 m。平成 14 年サンメドウズ清里スキー場に名称変更。

国体予選等のアルペン大会、教育本部のスキー技術選大会、研修会・検定会等が開催され、県内外の指導者及び検定等の受験者養成を支援。

平成 12 年２月本連盟主管、文部・厚生両省等後援「全国ろうあ者冬季体育大会」、平成 29 年２月ＳＡＪ公認スキー指導員・Ａ級検定員・スノーボード指導員の検定会を山梨県では初めて開催。

サンメドウズ清里スキー場提供

（出典:山梨県体育史Ⅰ巻～Ⅲ巻、山梨日日新聞、韮崎市誌、韮崎市体育協会のあゆみ、牧丘町誌、SAJ スキー年鑑）

県勢、雪中を堂々の行進

第41回 国体スキー ＜第1日＞

気迫みなぎる49人

きょう競技開始 安藤、奥田が登場

20位内へ闘志 大回転の佐野

国体スキー競技会開会式で佐野久選手（ピバスポーツ）を先頭に入場行進する山梨県選手団

きょうの県勢

◇距離

◇大回転

山梨日日新聞　1986年2月21日（13頁）© THE YAMANASHI NICHINICHI SHIMBUN

女子リレーは12位 距離

宮下（15成り）も健闘の15位

「女子総合8位」は逸す

第41回 国体スキー ＜第3日＞

強豪相手に奮戦 20キロリレー

大回転（男）で明暗

山梨日日新聞　1986年2月23日（12頁）© THE YAMANASHI NICHINICHI SHIMBUN.

（1）強化の経緯

第41回国民体育大会（かいじ国体）は、冬季大会スキー競技が施設の関係で唯一北海道（倶知安町）ニセコスキー場で開催。国体開催県として初めての総合優勝を目指す山梨県の強化対策本部の方針を受け、水上暉彦が主任強化コーチに就任、5年にわたるコーチ陣の陣頭指揮。

成年女子の距離競技（個人とリレー）及び大回転競技で皇后杯入賞を目標に強化方針を策定。強化指定校制度、体力強化、雪上強化合宿、交流試合、甲信越ブロックの支援等による強化計画の作成。

（2）大回転競技

昭和58年11月中旬～12月上旬に男子1名女子2名、同59年に女子3名、同60年に女子1名がヨーロッパ遠征実施。女子は、入賞の可能性が大きいと判断、成年2部で入賞を目指す。

（3）距離競技

昭和52年度から高校生を中心に選手の育成強化、同58年度から入賞の可能性のある種目の選定と強化計画の作成。専任コーチに千葉弘子氏を迎え、選手の指導、強化合宿、交流試合などで成果が挙がる。第40回群馬国体の成年1部で安藤真由美が6位入賞、本県スキー史上で初の快挙。少年は、強化指定校制度で須玉商業高校を指定、強化を図り女子リレーの入賞を目標に掲げる。

（4）国体の成績

距離競技成年1部で安藤真由美が2年連続6位入賞、大回転競技成年2部で高橋春子が7位入賞はアルペン史上で初の快挙。大回転競技成年3部で星勝美11位（男子アルペン史上で最高位）、距離競技成年1部で奥田やなぎと女子リレーで12位、成年3部で宮下久が15位、成年2部で広瀬増美が16位など入賞にあと一歩届かなかったが、大健闘の成績を挙げた。

皇后杯8位入賞こそ達成できなかったが、会長以下役員・選手が一丸となって入賞を目指し頑張ってきた結果である。

（出典：山梨県体育史第Ⅱ巻、かいじ国体限りなき前進）

第72回 国体スキー

藤原（韮崎出身 近大）大回転で銅

成年アルペン 県勢初の表彰台

第72回国民体育大会冬季大会スキー競技会「ながの銀嶺国体」第2日は15日、八方尾根スキー場などで行われ、山梨県勢は大回転で争うアルペン成年男子Aの藤原颯大（韮崎市出身、山梨学院高－近大）が1分21秒49で3位に入った。アルペン成年で県勢の表彰台は今回が初めて。藤原としては、第68回大会の少年男子大回転で2位となって以来4年ぶり3度目の表彰台になった。このほか、アルペンの成年女子Aは石川晴菜（石川・木島病院）が1分17秒54で制し、2連覇。同男子Aは新賢範（北海道・ブレイン）が1分20秒81で優勝した。強風のため1回で順位を決めたジャンプ（ヒルサイズ＝HS98メートル）の少年男子は岩佐勇研（北海道・札幌日大高）が90メートルの108・7点で優勝。成年男子Bに出場の船木和喜（北海道・フィット）は3位、荻原健司（長野・北野建設）は15位だった。

〈土屋圭佑〉〈共同〉

会心のレース 成長示す

4年ぶりに立った国体の表彰台。「久々にいい成績が残せてうれしい」。3位に入った藤原颯大（山梨学院高－近大）は声を弾ませた。

前半は抑えて中盤以降に攻めるー。長く、標高差のあるコースで「後半に疲れないようペース配分に気を付けた」。プラン通り中盤以降にスピードに乗ると、ゴールまで勢いは衰えなかった。終盤に小さいミスが出たことに「優勝も狙えた」と悔しさをにじませつつ「80点ぐらいの滑りはできた」と振り返った。

山梨学院高2、3年時に少年男子大回転で2年連続2位に入るなどジュニア時代から活躍した。だが成年にカテゴリーが上がってからは一昨年12位、昨年14位と「自分の実力を出し切れなかった」。

今回は名門・近大で4年間培ってきたコース戦略や体調管理、直前準備の方法などを徹底。2週間前からレースのイメージを膨らませたほか、この日は午前9時のスタートに合わせて5時に起床し入念にコンディションを整えた。

卒業後は山梨に帰郷して競技を続ける予定。19日からの全日本学生選手権（青森）が大学最後の大舞台となる。「国体の表彰台に立った勢いに乗って頂点を狙いたい」と活躍を誓った。

〈土屋圭佑〉

【成年男子A】▽大回転 ①新賢範（北海道・ブレイン）1分20秒81③藤原颯大（山梨・近大）1分21秒49㉓小林哲也（山梨・コミックスマート）1分31秒60、戸沢和哉（山梨・早野組）＝途中棄権 ▽10キロクラシカル ①宇田崇二（福井・自衛隊）28分25秒4 ▽ジャンプ（ヒルサイズ98メートル）①永峯寿樹（長野・明大）114・2点（99・5メートル＝最長不倒）（強風のため1回目で打ち切り）

【成年男子B】▽大回転 ①武田竜（北海道・武田企画）1分16秒79㊺梶屋貴史（山梨・ファナック）1分27秒04 ▽10キロクラシカル ①成瀬開地（岐阜・岐阜日野自動車）28分4秒8 ▽ジャンプ（ヒルサイズ98メートル）①永井健弘（岩手・盛岡市役所）111・1点（97・5メートル＝最長不倒）（強風のため1回目で打ち切り）

【成年女子A】▽大回転 ①石川晴菜（石川・木島病院）1分17秒54㊿川嶋晴（山梨・日女体大）1分26秒46㊷平井彩音（山梨県立大）1分28秒77㊾松本千沙（山梨・専大）1分30秒97

【少年男子】▽10キロクラシカル ①土濃塚悠成（秋田・秋田北鷹高）27分58秒4⑯佐藤大気（山梨・北杜高）35分51秒0⑲中込大惠（山梨・韮崎工高）36分46秒2㉑上野朗夜（山梨・韮崎工高）38分58秒4㉚内藤亮（山梨・北杜高）40分32秒3 ▽ジャンプ（ヒルサイズ98メートル）①岩佐勇研（北海道・札幌日大高）108・7点（90メートル）（強風のため1回目で打ち切り）

【国体スキー 成年男子A大回転】3位に入った山梨の藤原颯大＝八方尾根スキー場

山梨日日新聞　2017年2月16日（19頁）© THE YAMANASHI NICHINICHI SHIMBUN.

【主な成績】

第七十二回長野銀嶺国体	成年男子A	GS3位
第六十八回あきた鹿角国体	少年	GS2位
第六十二回インターハイ		GS2位
第六十七回ぎふ清流国体	少年	GS2位
第六十一回インターハイ		SL10位
第四十七回全国中学校スキー大会		GS6位 SL4位
二〇〇九 JOCジュニアオリンピックカップ		SL4位
第四十六回全国中学校スキー大会		GS4位 SL7位

あきた鹿角国体（清水甲子雄氏提供）

長野銀嶺国体（高野大輔氏提供）

国体等入賞者

国　体

昭和 60 年	40 回群馬（片品）	距離競技成年１部	安藤真由美　６位
昭和 61 年	41 回北海道（倶知安）	距離競技成年１部	安藤真由美　６位
		大回転競技成年２部	高橋　春子　７位
平成 17 年	60 回岩手（安代）	距離競技成年Ｂ	小川　壮太　８位
平成 24 年	67 回岐阜（高山）	大回転競技少年	藤原　颯大　２位
平成 25 年	68 回秋田（鹿角）	大回転競技少年	藤原　颯大　２位
平成 29 年	72 回長野（白馬）	大回転競技成年Ａ	藤原　颯大　３位

オリンピック・パラリンピック

平成 14 年	第 19 回ソルトレイクシティーオリンピック	フリースタイルエアリアル	辺見　佳代　代表
平成 18 年	第 20 回トリノオリンピック	フリースタイルエアリアル	辺見　佳代　21 位
平成 18 年	第 20 回トリノパラリンピック	ジャイアントスラローム	長谷川順一　14 位

世界選手権

平成 16 年	チェアスキー世界選手権	スーパー大回転	長谷川順一　３位
平成 16 年	チェアスキー世界選手権	大回転	長谷川順一　３位
平成 16 年	チェアスキー世界選手権	回転	長谷川順一　５位

アジア大会

平成 29 年	第８回冬季アジア札幌大会スノーボード回転		鈴木　湧也　２位
		大回転	神野慎之助　３位

ワールドカップ

平成 18 年	ワールドカップ富良野大会（スノーボードハーフパイプ）		石原　崇裕　２位

全日本選手権大会

平成 11 年	第 19 回全日本選手権	（フリースタイルエアリアル）	辺見　佳代　優勝
平成 13 年	第 21 回全日本選手権	（フリースタイルエアリアル）	辺見　佳代　優勝
平成 15 年	第 ９ 回全日本選手権	（スノーボードハーフパイプ）	石原　崇裕　２位
平成 16 年	第 24 回全日本選手権	（フリースタイルエアリアル）	辺見　佳代　優勝
平成 17 年	第 25 回全日本選手権	（フリースタイルエアリアル）	辺見　佳代　優勝
平成 18 年	第 26 回全日本選手権	（フリースタイルエアリアル）	辺見　佳代　優勝
平成 19 年	第 27 回全日本選手権	（フリースタイルエアリアル）	辺見　佳代　優勝
平成 19 年	第 13 回全日本選手権	（スノーボードハーフパイプ）	石原　崇裕　優勝
平成 20 年	第 28 回全日本選手権	（フリースタイルエアリアル）	辺見　佳代　優勝
平成 21 年	第 29 回全日本選手権	（フリースタイルエアリアル）	辺見　佳代　優勝
平成 22 年	第 30 回全日本選手権	（フリースタイルエアリアル）	辺見　佳代　優勝
平成 23 年	第 31 回全日本選手権	（フリースタイルエアリアル）	辺見　佳代　優勝

全日本スノーボード技術選手権大会

平成 20 年	第５回全日本スノーボード技術選手権（アルペン）		坂本　栄樹　３位
平成 28 年	第 13 回全日本スノーボード技術選手権（フリースタイル）		内田　　塁　優勝
平成 29 年	第 14 回全日本スノーボード技術選手権（フリースタイル）		内田　　塁　３位

年度別優勝者　（選手権、国体予選等、男子、女子。距離男子は昭和３０年から１５ｋ、平成１２年から１０Ｋ）

年(実施年)	滑降（昭和22～26年新複合（滑降・回転）、63年からSG）		大回転（選手権）大回転（国体予選）		回転		距離15K フリー10K	距離5K フリー5K	継走	
	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子
昭和22年	伴野　亘	参加者なし	実施せず	実施せず	島田忠次	参加者なし	(長4k)三井格太郎		実施せず	
23年	島田忠次	参加者なし	実施せず	実施せず	記録なし	参加者なし	(長4k)三井格太郎		実施せず	
24年	村松敏夫	参加者なし	掛本芳成	伴野ひろ子	伴野　亘	参加者なし	(長4k)三井格太郎	甲府スキークラブ		
25年	松村敏雄	小沢たみ子	志村栄治	参加者なし	石井新八	小沢たみ子	(長8k)宿　毅		韮崎一高	
26年	山田俊夫	小沢あき子	山田敏男	参加者なし	松村敏雄	参加者なし	神戸　毅		峡　　東	
27年			由井寛久	小沢たみ子	山田敏男	小沢たみ子	飯島譲治		韮崎高校	
28年			掛本芳成	小沢民子	掛本芳成	小沢君子	飯島譲治		韮崎高校	
29年			伴野　亘	小沢民子	松山熊雄	小沢民子	飯島譲治		韮崎高校	
30年			藤川　実	小沢君子	斎藤定人	小沢君子	大村　智		韮崎高校	
31年			古屋学而	大庭茂子	斎藤定人	参加者なし	利根川寅雄		韮崎クラブ	
32年			石原玲二	参加者なし	斎藤定人	参加者なし	大村　智		韮崎クラブ	
33年			古屋学而	大庭茂子	古屋学而	参加者なし	大村　智		韮崎クラブ	
34年			古屋学而	大庭茂子	辺見千春	参加者なし	利根川寅雄		韮崎クラブ	
35年			石原玲二	大庭茂子	石原玲二	参加者なし	手塚　恒		韮崎クラブ	
36年			百瀬勝彦	大庭茂子	石原玲二	大庭茂子	手塚　恒		韮崎クラブ	
37年			大村幸守	大庭茂子	古屋学而	大庭茂子	手塚洋行		実施せず	
38年			石原玲二	大庭茂子	石原玲二	大庭茂子	菊島昇平		韮崎クラブ	
39年			百瀬勝彦	大庭茂子	井出澄男	三井とく	五味勝治		実施せず	
40年			井出澄男	参加者なし	井出澄男	参加者なし	秋山　力		日川高校	
41年			井出澄男	西山正子	馬場福治	参加者なし	秋山　力		日川高校	
42年			井出澄男	参加者なし	井出澄男	三井とく	秋山　力		日川高校	
43年			井出澄男	小屋美江	井出澄男	参加者なし	清水利文		日川高校	
44年			石川文生	小池紘子	斉藤　茂	参加者なし	金丸光太郎		北富士工高	
45年	石川文生		石川文生	浅川和江	石川文生	竹田由起子	清水利文		北富士工高	
46年	難波俊彦		岡崎克己	竹田由起子	岡崎克己	竹田由起子	金丸光太郎		日川高校	
47年	中止		岡崎克己	雨宮千代子	岡崎克己	雨宮千代子	清水利文		日川高校	
48年	天野正俊		駒井慶希	大竹くに子	岩間英仁	大竹くに子	小笠原武司		韮崎SC	
49年	西川健治		西川健治	浅川由紀恵	西川健治	大柴八重子	輿石　正		峡北高校	
50年	大森茂生	西川健治	西川健治	矢野美登里	西川健治	中沢文香	輿石　正		峡北高校	
51年	雨宮　久	矢野美登里	雨宮　久	矢野美登里	雨宮　久	矢野美登里	輿石　正		峡北高校	
52年	雨宮　久	矢野美登里	雨宮　久	矢野美登里	天野正俊	矢野美登里	久保田正信		峡北高校	
53年	中止	矢野美登里	雨宮　久	矢野美登里	天野正俊	矢野美登里	萱沼一雄	清水法子	富士吉田SC	須玉商業
54年	雨宮　久	中止	雨宮　久	一ノ瀬すみ	高橋洋志	一ノ瀬郁子	輿石　正	中嶋由美子	日川高校	須玉商業
55年	雨宮　久	室田陽子	辺見治夫	室田陽子	高橋洋志	一ノ瀬郁子	輿石　正	清水法子	日川高校	須玉商業
56年	雨宮　久	古屋梨華	雨宮　久	室田陽子	雨宮　久	室田陽子	輿石　正	清水法子	日川高校	須玉商業
57年	中止	中止	雨宮　久	古屋梨華	佐野　久	横森明子	輿石　正	中島憲美子	日川高校	須玉商業
58年	桐原武仁	辺見美津江	桐原武仁	福島令子	雨宮　久	辺見美津江	輿石　正	小俣真由美	日川高校	須玉商業
59年	雨宮　久	神宮司直美	辺見治夫	辺見美津江	辺見治夫	神宮司直美	輿石　正	伏見晴美	日川高校	須玉商業
60年	雨宮　久	神宮司直美	桐原武仁	高橋春子	佐野　久	高橋春子	輿石　正	安藤真由美	日川高校	須玉商業
61年	桐原武仁	高橋春子	佐野　久	高橋春子	雨宮　久	神宮司直美	輿石　正	加賀美純子	日川高校	須玉商業
62年	中止	中止	桐原武仁	高橋春子	羽鳥　祥	高橋春子	輿石　正	奥田やなぎ	峡北高校	須玉商業
63年	井上和弥	室田陽子	羽鳥　祥	室田陽子	羽鳥　祥	高橋春子	中島日出夫	後藤あや	清里SC	須玉商業
平成元年	若月　健	室田陽子	雨宮　久	室田陽子	中止	中止	加々美豊明	宮沢恵美	峡北農高	参加なし
2年	永田淳一	塚田名賀美	永田淳一	塚田名賀美	永田淳一	山本真生	宮下　久	馬場久子	清　　里	須玉商業
3年	南雲敏幸	永関みさ子	永田淳一	永関みさ子	土岐茂美	佐藤史	清水哲弥	小林早苗	日大明誠高	須玉商業
						矢崎実紀				
4年	南雲敏幸	永関みさ子	若月　健	永関みさ子	土岐茂美	山本真生	清水哲弥(15k)	村松洋子		
							広瀬本男(10k)			
							富岡俊士	村松洋子		
5年	中止	中止	渡辺雄三	丸山尚美	永関英文	秋山和子	富岡俊士	雨宮美幸		
							富岡俊士	宮沢恵美		

年度別優勝者　（選手権、国体予選等、男子、女子。距離男子は昭和３０年から１５ｋ、平成１２年から１０Ｋ）

6年	土岐茂美	秋山絵梨	伊藤勝敏	秋山絵梨	土岐茂美	秋山絵梨	富岡俊士	清水恵美		
							富岡俊士	稲山順子		
7年	伊藤勝敏	梶　秀圭	藤森太郎	丸山尚美	日原万博	秋山絵梨	富岡俊士	加藤清美		
							富岡俊士	加藤清美		
8年	久保田純人	梶　秀圭	藤森太郎	梶　秀圭	日原万博	梶　秀圭	小川壮太	加藤清美		
							小川壮太	加藤清美		
9年	大和久修	梶　秀圭	久保田純人	由井愛理	加藤友亮	梶　秀圭	小川壮太	加藤清美		
							小川壮太	加藤清美		
10年	小川博行	梶　祥世	山本浩史	新海美穂	日原万博	青井貴子	加藤淳一	佐藤千草		
							加藤淳一	佐藤千草		
11年	小川博行	新海美穂	日原万博	新海美穂	日原万博	梶　秀圭	中嶌弘次	浅川杏里		
							中嶌弘次	浅川杏里		
12年	中止	中止	日原万博	新海美穂	日原万博	新海美穂	富岡俊士	浅川杏里		
							富岡俊士	浅川杏里		
13年	有賀章二	早川久美子	武田一宏	梶　祥世	日原万博	立川秀圭	真明剛士	浅川杏里		
							真明剛士	浅川杏里		
14年	野村正道	秋山絵梨	武田一宏	秋山絵梨	淡路貴裕	日野水うらら	真明剛士	佐藤史香		
							真明剛士	佐藤史香		
15年	日原万博	有泉美穂	有賀章二	梶　由乃	雨宮公貴	梶　由乃	小川壮太	佐藤由美		
			雨宮公貴	野村奈央			小川壮太	佐藤由美		
16年	武田一宏	風間美恵	中田　匠	野村奈央	中田　匠	飯島紗友美	小川壮太	佐藤由美		
			板谷俊輔	風間美恵						
17年	実施せず	実施せず	中田　匠	野村奈央	中田　匠	阿久津由里恵	小川壮太	浅川杏里		
			雨宮公貴	阿久津由里恵						
18年	実施せず	実施せず	岡部庸之	上原稔子	中田　匠	佐野間美樹	小川壮太	小高佑季子		
			中田　匠	有泉美穂						
19年	実施せず	実施せず	竹内勇人	有泉美穂	真田光春	佐野間美樹	小川壮太	野尻あずさ		
			中田　匠	上原稔子						
20年	実施せず	実施せず	広瀬文吾	植竹美奈	藤原颯大	佐野間美樹	小川壮太	野尻あずさ		
			白倉順二	井上香菜子						
21年	実施せず	実施せず	天野大志	佐野間美樹	小澤聖巳	渡辺未来	小川壮太	柳原安里		
			牧井大輝	佐野間美樹						
22年	山腰洋樹	池谷雪乃	小林哲也	松本千沙	小林哲也	松本千沙	小川壮太	柳原安里		
			藤原颯大	佐野間美樹						
23年	山腰洋樹	植竹美奈	広瀬文吾	松本千沙	依田一希	柳生実可子	小川壮太	柳原安里		
			山腰洋樹	齋藤小文						
			藤原颯大	松本千沙						
24年	有賀章二	松本千沙	小林哲也	平井彩音	小林哲也	平井彩音	小川壮太			
			藤原颯大	佐野間美樹						
25年	山腰洋樹	森澤友貴	久保瑞貴	川嶋　晴	依田一希	川口里佳子	小川壮太			
			久保美海	佐野間美樹						
26年	戸澤和哉	平井彩音	山内勇輝	平井彩音	依田一希	平井彩音	小川壮太	鈴木杏奈		
			依田一希	佐野間美樹						
27年	山腰洋樹	平井彩音	宮田星南	川嶋　晴	宮田星南	尾畠詩織	小川壮太	鈴木杏奈		
			藤原颯大	有泉美穂						
28年	中止	中止	清水雄司	平井彩音	中止	中止	小川壮太	鈴木杏奈		
			藤原颯大	松本千紗						
29年	中止	中止	横内進一郎	平井彩音	中止	中止	小川壮太	鈴木杏奈		
			藤原颯大	松本千紗						

（出典：山梨県体育史Ⅰ～Ⅲ巻、山梨日日新聞）

体育功労賞受賞者

スキー連盟推薦、（　）は推薦団体でスキー関係者、国体１０回出場者

年度	体育功労者	年度	体育功労者	年度	国体10回出場者
昭和25年	大沢　伊三郎（山岳）	平成　元年	小屋　忠靖		
32年	藤川　　二郎	2年	遠藤　信政		
33年	長田　　進	3年	樋口　一彦		
36年	山下　　豊次	4年	馬場　福治		
37年	山寺　　巌	5年	大森　末雄		
38年	広瀬　不二三	6年	武藤　猛夫	平成6年	三村　永治
40年	松山　　熊雄		白須　　中（富士吉田）		
41年	（故）佐々　武彦	9年	小林　完二	9年	丸山　尚美
46年	白倉　　久	10年	山田　敏男	10年	廣瀬　本男
50年	（故）秋山　英二	11年	井出　澄男		
54年	小佐野　和夫	12年	林野　　旻		
55年	掛本　　芳成	13年	跡部　義幸		
57年	土屋　　學	14年	山田　正賢	14年	山本　浩史
58年	小林　　昭二	15年	丸山　和彦		富岡　俊士
59年	古屋　　学而	17年	秋山　隆信		
60年	石原　　玲二	20年	川島　　悠		
62年	津野　　正康	21年	利根川　一幸	21年	有賀　章二
		22年	利根川　寅雄		
		23年	清水　甲子雄		
			渡辺　　進（富士吉田）		
		24年	佐伯　正道		
		25年	守屋　裕史	25年	野村　正道
					山腰　洋樹
		26年	奥脇　清治	26年	広瀬　文吾
		27年	小佐野　真二		
		28年	広瀬　敏夫		

特別優秀選手

平成18年　　逸見　佳代：第20回オリンピックスキーフリースタイル　女子エアリアル　　第21位

石原　崇裕：ワールドカップ2006富良野大会ハーフパイプ　男子　　第2位

最優秀選手

平成11年　　逸見　佳代：第19回全日本フリースタイルスキー選手権　女子　第1位

優秀選手

平成24年　　藤原　颯大：第67回岐阜国体大回転少年男子　第2位

平成25年　　藤原　颯大：第68回秋田国体大回転少年男子　第2位

技術種目

内田　塁　選手

・SAJ デモンストレーター第６期　７期
・SAY 教育本部 SB 強化指定選手
・所属団体 ふじてんスノーリゾート SC
・資格　指導員

SAJ30 承認第 00036 号
写真提供：楢舘修様
SAJ30 承認第 00035 号

近年の主な戦歴
・第 11 回全日本スノーボード技術選手権大会４位
第６期スノーボードデモンストレーター認定
・第 12 回全日本スノーボード技術選手権大会５位
・第 13 回全日本スノーボード技術選手権大会１位
種目別　１位　３位　２位　２位　２位
第７期スノーボードデモンストレーター認定
・第 14 回全日本スノーボード技術選手権大会３位

競技種目アルペン

神野 慎之助 選手

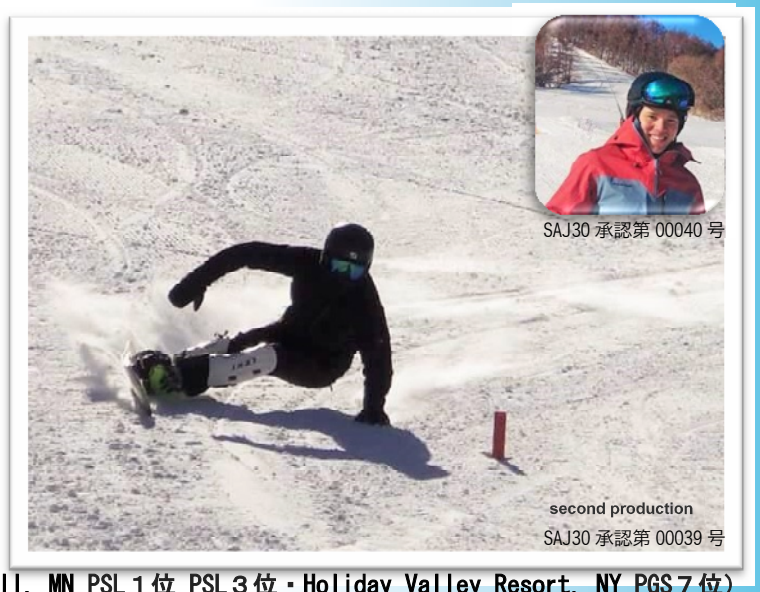
・SAJ Japan ski team(スノーボード)
　2010～13(J,r) 14～18 年 在籍中
・SAY 特別強化指定選手
・所属　トヨタ自動車
・出身校 韮崎高校⇒早稲田大学

SAJ30 承認第 00038 号
SAJ30 承認第 00037 号

近年の主な戦歴　（ ）は主な結果
・2015～16
ヨーロッパカップ １０大会
ノースアメリカンカップ ２大会
ナショナルチャンピオンシップ ３大会
FIS ３大会（AUT Falkert GS １位・GS２位）
・2016～17
世界選手権 ２大会（ESP Sierra Nevada PGS１１位 決勝トーナメント進出）
ワールドカップ ６大会（TUR Erciyes-Kayseri PGS１４位 決勝トーナメント進出）
冬季アジア札幌大会 ２大会（GS３位 銅メダル）
ヨーロッパカップ ８大会（AUT Gerlitzen PGS ４位）
ナショナルチャンピオンシップ ３大会（札幌 PGS３位・AUT Hochficht PSL５位）

競技種目アルペン

鈴木 湧也 選手



SAJ30 承認第 00040 号
SAJ30 承認第 00039 号

・SAJ Japan ski team(スノーボード)
　2012～14(J,r) 14～18 年 在籍中
・SAY 特別強化指定選手
・SAY 教育本部ジュニア育成指定選手 2008～13 年
・所属団体 CULB HARO
・出身校 日本航空高校⇒山梨学院大学
・資格　SB 技術検定１級

近年の主な戦歴　（ ）は主な結果

・2015～16
　ヨーロッパカップ ６大会
　ノースアメリカンカップ １０大会（USA Buck Hill, MN PSL１位 PSL３位・Holiday Valley Resort, NY PGS７位）
　ナショナルチャンピオンシップ １大会
　FIS ３大会(尾瀬戸倉 SL１位 GS１位・札幌６位)
・2016～17
　ワールドカップ １大会（TUR Erciyes-Kayseri PGS31 位）
　冬季アジア札幌大会 ２大会（SL２位銀メダル GS８位 ）
　ヨーロッパカップ ６大会
　ナショナルチャンピオンシップ ３大会（札幌 PGS２位・AUT Hochficht PGS ６位）
　FIS ３大会（札幌 PGS１位・AUT Falkert SL６位）

競技種目アルペン

三木 つばき 選手

SAJ30 承認第 00042 号
SAJ30 承認第 00041 号

・SAY 教育本部ジュニア育成指定選手
　2013～17 年 在籍中
・所属団体 CULB HARO
・資格　SB 技術検定１級

近年の主な戦歴　（ ）は主な結果

・2015～16
　SAJ 全日本ジュニア選手権 小学女子 GS１位 SL１位
　SAJ 尾瀬戸倉カップ 小学女子 GS１位 SL１位
　PSA 国内プロ選手権３大会（シーズンランク３位）
・2016～17
　海外大会 3 大会（ドイツ J,r チャンピオンシップ U15 GS１位・オーストリア選手権 U15 GS１位 SL１位
　　イタリア アルペドリアカップ U15 GS１位 SL１位）
　SAJ 全日本ジュニア選手権 中高生 GS１位 SL１位
　SAJ ３大会(北海道選手権 一般 PGS１位・尾瀬戸倉カップ 一般 GS１位 SL１位)
　PSA 国内プロ選手権４大会（シーズンランク１位）

山梨県所属デモンストレーター認定者

ナショナルデモンストレーター		
2016-2017	石田俊介	3期目

SAJデモンストレーター		
2002-2004	長嶋啓貴	初認定
2005-2007	長嶋佐織	初認定
2008-2009	長嶋佐織	2期目
2010-2011	長嶋佐織	3期目
2012-2013	長嶋佐織	4期目
2012-2013	菅原　悟	初認定
2014-2015	長嶋佐織	5期目
2014-2015	菅原　悟	2期目
2014-2015	赤松かおり	初認定
2016-2017	菅原　悟	3期目
2016-2017	赤松かおり	2期目

スノーボードデモンストレーター		
2008-2009	坂本栄樹	初認定
2014-2015	内田　塁	初認定
2016-2017	内田　塁	2期目

全日本スキー技術選手権大会　本選以上出場者一覧（過去10年）

2008年　第45回　会場：苗場スキー場			
男子	本選進出	長嶋啓貴	
女子	本選進出	長嶋佐織	

2009年　第46回　会場：八方尾根スキー場			
男子	本選進出	板谷俊輔	

2010年　第47回　会場：八方尾根スキー場			
女子	本選進出	長嶋佐織	

2011年　第48回　会場：八方尾根スキー場			
男子	本選進出	白倉順二	
女子	本選進出	長嶋佐織	

2012年　第49回　会場：八方尾根スキー場			
男子	準決勝進出	菅原悟	白倉順二
女子	本選進出	長嶋佐織	

2013年　第50回　会場：八方尾根スキー場			
男子	決勝進出	白倉順二	
	本選進出	菅原悟	

2014年　第51回　会場：八方尾根スキー場			
男子	本選進出	菅原　悟	白倉順二
女子	決勝進出	赤松かおり	
	本選進出	長嶋佐織	

2015年　第52回　会場：八方尾根スキー場				
男子	決勝進出	石田俊介		
	本選進出	菅原　悟	白倉順二	牧井大輝
女子	決勝進出	赤松かおり		
	本選進出	長嶋佐織	中村春菜	

2016年　第53回　会場：八方尾根スキー場				
男子	決勝進出	石田俊介		
	本選進出	白倉順二	菅原　悟	杉田夏野
女子	決勝進出	赤松かおり		
	本選進出	長嶋佐織	中村春菜	

2017年　第54回　会場：ルスツリゾートスキー場					
男子	決勝進出	石田俊介	菅原　悟	白倉順二	杉田夏野
女子	決勝進出	赤松かおり	中村春菜		

全日本スノーボード技術選手権大会 決勝進出以上出場者一覧（過去 10 年）

2008年　第5回　会場：石内丸山スキー場

FS男子	内田　墾	長内信三	赤池陽介
AP男子	坂本栄樹	水上秀樹	
AP女子	末木弥生		

2009年　第6回　会場：石内丸山スキー場

FS男子	内田　墾	柴田　大	赤池優作	遠藤晃崇	長内信三
FS女子	稲垣昌末	星野妃香			
AP男子	水上秀樹	坂本栄樹			
AP女子	末木弥生				

2010年　第7回　会場：石内丸山スキー場

FS男子	内田　墾	赤池陽介	遠藤晃崇	柴田　大	長内信三	森田　逸	岡　健蔵
AP男子	水上秀樹	坂本栄樹	桐山勇人	吉田泰知			
AP女子	末木弥生						

2011年　第8回　会場：ルスツリゾート

中止（東日本大震災により）

2012年　第9回　会場：ルスツリゾート

FS男子	内田　墾	赤池陽介	遠藤晃崇	柴田　大
FP女子	宮下珠美			
AP男子	坂本栄樹			

2013年　第10回　会場：ルスツリゾート

FS男子	赤池陽介	柴田　大	内田　墾	遠藤晃崇
AP男子	坂本栄樹			

2014年　第11回　会場：ルスツリゾート

FS男子	内田　墾	赤池陽介	柴田　大	遠藤晃崇

2015年　第12回　会場：宮城蔵王えぼしリゾート

FS男子	内田　墾	赤池陽介	赤池優作	遠藤晃崇	柴田　大
FP女子	尾崎愛子				
AP男子	坂本栄樹				

2016年　第13回　会場：宮城蔵王えぼしリゾート

FS男子	内田　墾	柴田　大	赤池陽介	赤池優作	遠藤晃崇	野本雄司
FP女子	尾崎愛子	井出あかね	上野　忍			
AP男子	坂本栄樹	田港朝佳				

2017年　第14回　会場：上越国際スキー場

FS男子	内田　墾	赤池優作	遠藤晃崇	柴田　大	赤池陽介	小野山季	小澤宏充	田中宏和
FP女子	渡辺有遥	上野　忍	尾崎愛子	井出あかね				
AP男子	吉田泰知	坂本栄樹	田港朝佳					

ＳＡＪ検定会　平成 29 年２月

2017年度
公認スキー指導員検定会
公認スキーＡ級検定員検定会
公認スノーボード指導員検定会

期日：2017年2月24日(金)～2月26日(日)
会場：山梨県・サンメドウズ清里スキー場

所 属 団 体 （平成２９．７．２３現在）

１	ＲＦＫスキークラブ
２	アトムスキークラブ
３	大泉スキークラブ
４	大月スキークラブ
５	雁坂スキークラブ
６	河口湖スキークラブ
７	サンメドウズスキークラブ
８	峡東スキークラブ
９	清里スキークラブ
１０	ＣＬＵＢ　ＨＡＲＯ
１１	甲府パラレルスキークラブ
１２	こまくさスキークラブ
１３	サンライズスキークラブ
１４	ジャポップ
１５	スキーチーム　ゼロ
１６	スノーペッカーズ
１７	ツゥモロースキークラブ
１８	都留スキークラブ
１９	ＴＥＡＭ　Ｍｔ．
２０	南稜スキークラブ
２１	韮崎スキークラブ
２２	ひまわりスキークラブ
２３	ふじてんスノーリゾートスキークラブ
２４	富士吉田スキー連盟
２５	ＨＯＴ　ＳＨＯＴ
２６	ホワイトエンジェルスキークラブ
２７	御坂スキークラブ
２８	山中湖スキークラブ
２９	山梨県庁スキークラブ
３０	ラビッツスキークラブ
３１	レーシングスキーチームふじ
３２	パノラマスノーアカデミーＳＣ
３３	山梨スキー技術研究室
３４	Ｅ　組
３５	甲府スノースキークラブ
３６	白寿生科学研究所
３７	山梨県小中体連スキー専門部
３８	山梨県高体連スキー専門部

編 集 後 記

諸先輩の皆様をはじめ多くの方々のご協力、ご尽力を頂きＮＰＯ法人山梨県スキー連盟創立 70 周年を迎え、記念誌を発刊することができました。

記念誌を発刊するにあたり多くの方々に原稿や資料の作成をお願いしたところ、快くお引き受けして頂きました。改めて関係する皆様に心より御礼申し上げます。

本記念誌の原稿で参考にした出展は「山梨県体育史Ⅰ巻～Ⅲ巻」「山梨日日新聞」「ＳＡＪスキー年鑑」「韮崎市誌」「韮崎市体育協会のあゆみ」「牧丘町誌」「かいじ国体限りなき前進」「山梨県の百年」「郡内の 100 年」などであります。

各分野の原稿では前述の出典を参考に手持ちの資料や 70 年の足跡を残してきた記録と併せて、「温故知新」を心がけて作成いたしました。

この記念誌を皆様のスキー人生や、次世代を担っていく方々に、お役に立てて頂ければ幸いです。発刊に関係した皆様のご協力に感謝すると共に今後ともご支援をよろしくお願い申し上げます。

NPO 法人山梨県スキー連盟創立 70 周年記念事業実行委員会
総括事務局長　清水 甲子雄

ＮＰＯ法人山梨県スキー連盟創立 70 周年記念事業実行委員会

実行委員長
林　野　　晃

副実行委員長
岡　武　男・渡　辺　　進・川　嶋　　悠

総括事務局長
清　水　甲子雄

事　務　局
小佐野　真　二・守　屋　裕　史・守　屋　久　美

式典部会
部長　川　島　　悠

副部長　南　雲　敏　幸
副部長　新　海　　淳
事務局　望　月　政　英

部　員　渡　辺　雄　三
部　員　長　嶋　啓　貴
部　員　中　嶋　　悟

係　員　石　川　勝　志
係　員　佐　伯　正　道
係　員　湯　川　正　樹
係　員　利根川　　昇
係　員　末　木　利　幸
係　員　田　中　嘉一郎
係　員　宇　田　和　男
係　員　広　瀬　　肇
係　員　山　本　浩　史
係　員　安野木　竹　夫
係　員　白　井　義　幸
係　員　小田切　秀　樹
係　員　太　田　義　徳
係　員　山　口　永　司

表彰部会
部長　岡　　武　男

副部長　丸　山　正　視
副部長　金　谷　裕　司
事務局　守　屋　裕　史

部　員　鈴　木　正　輝
部　員　手　塚　正　彦
部　員　梶　原　孝　治

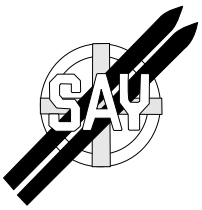
係　員　田　中　正　清
係　員　下　本　敏　雄
係　員　佐　藤　　正
係　員　石　原　和　幸
係　員　塩　野　孝　春
係　員　橋　本　光　彦
係　員　小　林　義　則
係　員　永　関　英　雄
係　員　川　上　　哲
係　員　志　村　幸　彦
係　員　石　井　俊　一
係　員　西　山　公　陛
係　員　植　野　　浩
係　員　島　　衛　一
係　員　斉　木　邦　彦

記念誌部会
部長　渡　辺　　進

副部長　武　川　和　正
副部長　小佐野　真　二
総括事務局長　清水 甲子雄

部　員　山　本　英　治
部　員　日　原　万　博
部　員　金　谷　裕　司

係　員　佐々木　弘　之
係　員　渡　辺　浩　長
係　員　鈴　木　孝　昌
係　員　志　村　和　也
係　員　萱　沼　一　雄
係　員　湯　山　忠　志
係　員　長　田　武　久
係　員　小　林　　明



ＮＰＯ法人山梨県スキー連盟創立 70 周年記念誌
70th ANNIVERSARY　2017 年９月３日発行

【発　　行】 NPO 法人山梨県スキー連盟
〒 405-0018 山梨県山梨市上神内川 538-2
TEL/FAX 0553-22-5825
【企画／編集】NPO 法人山梨県スキー連盟創立 70 周年記念事業実行委員会
制作協力：DIGIHANDS 昭和堂